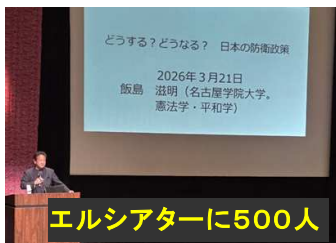


# 脱原発・放射能汚染を考える

No.360 2026年4月2日  
脱原発・放射能汚染を考える北摂の会  
west\_umi@khc.biglobe.ne.jp

## 3・21 どうなる？ どうする？ 集会 外交・防衛政策と沖縄

「とめよう！戦争への道・めざそう！アジアの平和2026春 関西のつどい実行委員会」の主催で上記集会が開催された。会場のエルシアターには各組合、平和団体などから約500人が参加した。全港湾の関谷さんの司会で開会し、主催者を代表して大阪平和人権センターの有本さんが挨拶を行った。



エルシアターに500人



飯島滋明さん講演



高良紗哉さん講演



高校生平和大使報告

### どうなる？ どうする？ 日本の防衛政策

#### 飯島重明さん(名古屋学院大)

飯島さんの講演は、まず南西諸島に自衛隊が配備・強化されている現状報告から開始され、高市政権がめざす改憲と壊憲への批判が行われた。

- (1)「非核三原則の見直し」は、日本が米軍の各基地攻撃基地となる。
- (2)「武器輸出」は世界での戦争・虐殺への加担となる。
- (3)自衛隊の配備強化は抑止力？ 自衛隊配備拡大、ミサイル配備は逆に近隣諸国との緊張激化・脅威
- (4)5兆円の防衛費増額でなく、教育費、年金増額、医療、減税に！
- (5)自衛隊の憲法明記は徴兵制！
- (6)スパイ防止法は民主運動の弾圧 それに「どうする？」

- (1)「心の中に平和の砦」を築く
- (2)ネット工作に対する対応は重要

感謝 皆様のご支援のおかげで、**360号の発行ができました。**

「脱原発」は2011年5月14日に発行以来、月2回の発行を続けてきました。継続できたのは皆さんの支援のおかげです。ありがとうございました。

- (3)「国際協調」と「法の支配」の要求
- (4)改憲より「日米地位協定」改訂

### あぶない?! 基地増強がすすむ沖縄

#### 高良釈哉さん(参議院議員)

沖縄現地の運動を代表して参議院議員でもある高良さんからは、宮古島での基地の拡充と弾薬庫、石垣島へのミサイル搬入、与那国島への航空レーダー部隊の増派などの動きを報告。

島全体が軍事基地化され、対中国前線基地とされる中で、戦闘に邪魔な住民の「避難」が「国民保護法」の名で計画されている。九州・山口にカバンひとつをもって「避難」させる計画で予行演習も実施。保護法では、住民の財産権や人権が制約される。

### 核廃絶をめざす高校生平和大使

集会の最後には、高校生平和大使から国連軍縮部ジュネーブ事務所に反核兵器の署名を届け、世界でそして日本での活動報告が行われ、署名とカンパの要請が行われた。

## 高市首相がトランプ大統領に約束してきた 次世代小型原発(SMR)は不経済で危険

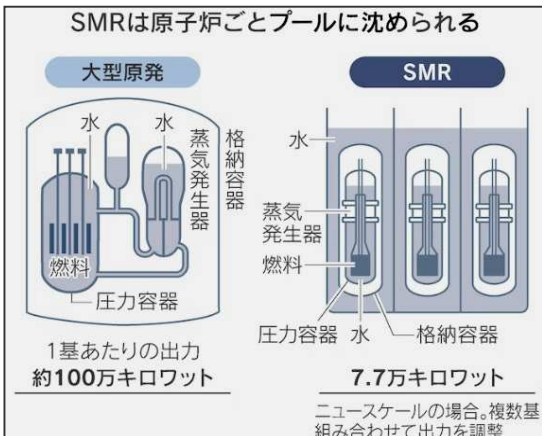
高市首相は、「日米首脳会談」で、日本が昨年7月の「関税合意」で約束させられた約80兆円の対米投資の第2弾として、日本の資金で日本企業が米国に投資する約束を発表した。この論議の前提のトランプ関税は、米国の連邦最高裁で違法と

なっている。

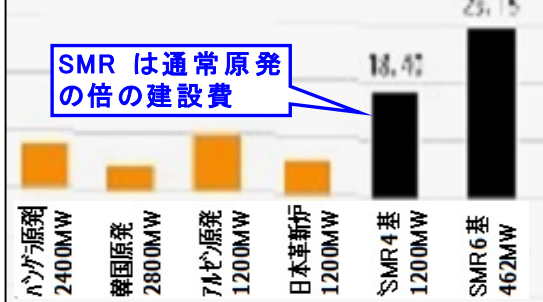
今回の目玉には、次世代原発の小形モジュール炉(SMR)を日系の「GEベルノバ日立」がテネシー州とアラバマ州に建てる予定である。日本政府と日立にとっては国内では新規原発の建設が困難な中で、「小型

モジュール炉」の建設を行い、その実績をもって世界への拡販を狙っている。

小形モジュール炉は建設費が割高であること、小型ということで地域に拡散された場合の核汚染の対策、安全対策など多くの問題がある危険なシステムである。



### 原発建設費(KW単位)



# 報告 わだつみ会オンライン連続講座 第11回講座 (3/15)

## 「中国人強制連行・強制労働と万人坑」(青木 茂 さん)

日本は明治政権の誕生以来、台湾出兵、日清戦争、日露戦争そして南満州鉄道を獲得し、「満蒙は日本の生命線」を合言葉に1931年の柳条湖事件を口実に中国東北部への侵略を進めた。中国では、撫順炭鉱などの鉱山、建設現場で多くの中国人が勞工として徴用され、劣悪な生存条件の下で過酷な労働が強制され、多くの勞工が死亡し、犠牲者は荒野に打ち捨てられ「万人坑」が形成された。

今回はこの日本企業による強制連行と強制労働の実態、万人坑についての青木茂さんの講演であった。

### 青木さん講演「中国人強制連行・強制労働と万人坑」

青木さんは講座のために10頁を超える資料と、図表と写真の豊富なパワーポイントで講演された。講演は、今夏に刊行予定の「わだつみのこえ」に掲載予定。(以下の要約は編集部責任です)

### 20年間に42ヶ所の万人坑／日本の企業に責任

万人坑の現場を最初に訪ねたのは内蒙古自治区ホロンバイル盟ハイラル市(当時)にある沙山万人坑で、2000年5月。沙山の乾ききった沙漠に犠牲者の遺骨が大量に放置されたまま猛烈な寒風に吹きさらされている情景を今も忘れることはない。ハイラル・沙山万人坑の惨状は私の脳裏に強烈な擦痕を残した。それから20年間に42カ所の万人坑を訪ね、多くのことを私は見聞した。そして埋められた犠牲者の数が文字通り万人の単位になること、営利(金儲け)を目的とする日本の民間企業が関与(経営)する鉱山や土工工事現場における強制労働が大量の犠牲者を生み、「人捨て場」である万人坑を形成する主な原因になっていることを知った。

### 中国本土での強制労働被害者は4000万人

一般住民の強制連行や捕虜の徴用などにより中国各地から鉱山などの現場に送り込まれ、強制労働

を強いられた中国人の数は、東北(「満州国」)で1640万人であり、華北では2000万人を上回る。

これに、華中と華南の被害者を加えると、中国本土での被害者はおよそ4000万人にもなる。そして強制労働を強いられた中国人被害者の8割とか9割が死亡する現場が数多く存在していたことも確認できる。

### 万人坑から見える日本の中国侵略の正体

#### 民間企業の営利活動が大量殺害と万人坑形成の元凶

日本の中国侵略の流れのなかで、無尽蔵の労働力をタダ同然で手に入れた日本企業は、占領支配下にある中国各地の鉱山や土工工事現場などでの劣悪な生活環境の下で安全無視の凄惨な労働を強制した。強制労働被害者の死亡率は啞然とするほど高い。日本へ強制連行された中国人被害者の死亡率17.5パーセントより高く、仮に2割とか3割と想定すれば死者数は1000万人規模となり、中国全土に多くの万人坑が形成されたと考えることが出来る。日本の民間企業が行う強制労働が引き起こした中国人大量殺害の犠牲者は、日本軍による直接的な虐殺の犠牲者より多いのではないのか。

#### 侵略の本質は資本家・企業家の金儲け

暴虐の限りを尽くした日本軍も、大資本家・企業家に雇われた「用心棒」に過ぎないのではないのか。巨悪の本質は、日本軍を育成し、利用して、中国やアジアの資源を略奪し暴利をむさぼりつつ大資本家・企業家ではないのか。それこそが日本の侵略の正体ではないのかと思う。

## <青木 茂さん の主な著作>

- 『日本軍兵士・近藤一 忘れえぬ戦争を生きる』風媒社
- 『21世紀の中国の旅 偽満州国に日本侵略の跡を訪ねる』日本僑報社
- 『万人坑を訪ねる 満州国の万人坑と中国人強制連行』緑風出版
- 『日本の中国侵略の現場を歩く 撫順・南京・ソ満国境の旅』花伝社
- 『華北の万人坑と中国人強制連行 侵略加害の現場を訪ねる』花伝社
- 『華南と華中の万人坑 中国人強制連行・強制労働を知る旅』花伝社
- 『万人坑に向き合う日本人』『万人坑と強制労働の現場』花伝社

五月三日に  
大阪戦争展で講演

わだつみ会  
第11回オンライン連続講座

2026年3月15日  
冠木弁護士事務所

## 中国人強制連行・強制労働と万人坑(人捨て場)

青木茂



### (i) 中国東北(「満州国」)の中国人強制連行

強制連行・強制労働を強いられた中国人はどうなるのか。

史料:

『日満商事調査統計月報・満州炭鉱資料読本別冊』

「満州国」時代の日満商事株式会社調査室が発行  
・多数の統計 ・中国人勞工の死亡を克明に記録

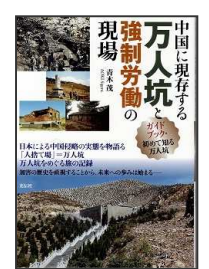
### 鉱山労働者採用後期間別死亡者加重比率表

撫順炭鉱など11炭鉱、満州鉛鉱など2鉱山、  
昭和製鋼所 ⇒ 合計14カ所の事業所の、

労工受け入れ後の就労期間に応じた死亡率を記載

その14カ所の平均死亡率

15日	6.7%	1カ月	20.6%
2カ月	36.2%	3カ月	51.3%
半年	75.9%	1年	87.0%



# 3/28 デジタル教育の全面化で学校が大きく変わる

## 学力と子どもの理解が数値化され、授業がPC内で完結し、教員が教員でなくなる

政府がデジタル教育の進展に向けて小中学校生にタブレットを配布してから6年。子どもたちの学力・体力、心の状態、人間関係までが管理されるシステムが造られようとしている。高市政権は、今国会でデジタル教科書を正式の教科書とする学校教育法改正案を提出し、2030年度の次期学習指導要領の開始に向けて、教科書をもデジタル化しようとしている。学校と教育、子どもたちと教員への影響は計り知れない。これらの問題について『戦争教科書はいらない』大阪連絡会の学習会が28日に開かれた。

学習会には教員を中心に約30人が参加、現役の小中学校教員から教育委員会の施策と教員、そして子どもたちの状況、高市政権が準備しているデジタル教科書の正式認可の動きなどが報告された。

### 学校に広がる「ICT神話」

タブレットの配布から6年、大阪市の「PC活用ロードマップ」では「毎日アクセス」(フェーズ1)から、「1日1回授業で活用」(フェーズ2)に進み、「あらゆる授業で活用」(フェーズ3)が課題となっている。子どもたちは、登校すると、「心の天気」を入力し、朝学習ではデジタルドリルとタイピング練習をするのが日課とされている。

若手教員を中心に「ICT神話」は広がり、タブレットの使用が日常化し、それが効率的授業と思われている。しかし、手でブロックを動かすのではなくPC画面内の移動、草花を触らずにPCでの写真、調べたことをノートに書くのではなくPCでコピーでは現実のものの理解、知識は獲得できていない。

### 学習用端末は『令和の時代の文房具』？

市教委は「連絡帳のデジタル化」を進め、そのためにPCの持ち帰りが基本とされている。そして充電は家庭で行うように指示。家庭での「音読」記録や「リコーダー」練習なども録画させるなども行われている。

ゲームやYouTubeなどはロックが掛けられているが簡単に解除でき、多くの子どもたちは家でゲームなどに利用し、深夜まで遊ぶ原因にもなっている。

### 二次元情報と具体的体験の決定的違い

手触り、匂い、音、見た目など五感を使った理解文字・図の位置情報を持った紙の教科書自分で書いたノート、実体験、具体的活動を「PC画面」「マウス操作」等で代替できない！

## 案内 ドイツの現状から日本を考える 「強い」国と「多様な」社会のはざままで

2026年現在のドイツは、経済低迷と移民問題が絡み合い、外国人排斥、自国民優先を掲げる「AfD」等が躍進している。既存の2大政党はなすすべもなく弱体化し、包摂的な社会政策を後退させている。現代の混迷と模索の実態を考察する。

日時：6月27日 14時  
場所：日本基督教団 宝塚教会  
主催：宝塚宗教者・市民平和会議

### あらゆる授業での活用(フェーズ3)

「学習の一部をICTで代替」として、デジタルノート(スライド)やPCを使用したホワイトボードが提案されているが、最終的に授業全体で活用することが想定されている。これらを使用した授業はクラスとしての学びでなく、子ども一人づつがパソコンと向き合うものとなってしまふ。



伊賀さん講演

- 何でもかんでもデジタル化は有効か？  
「ペン」はキーボードより強い！
- 手書きで漢字の取得が言語能力を高める
  - 手書きでの要点まとめが、記憶の定着を図る
  - 書きによる工夫が、思考を促す

### 焦点は2030年 デジタル教科書と教材の結合

高市政権は2030年にデジタル教科書を正式化する「学校教育法改正案」を準備。それに対して、子どもの健康、学力からの懸念も多く、また共同学習の意義、教員の専門性、機器トラブルなども問題。

デジタル教育の進行、「生成AI」の導入などにより子どもたちの個人情報教育が教育委員会を越えてICT企業に集積され商業利用される問題。

### 講演に続いて、参加者による論議

報告後に参加者から、教育現場の現状、個人情報管理の問題などが論議された。

### 近未来の教育はどうなるのか

- 子ども：健康面や人格形成に悪影響
- 学校：個人に切り分けられた空間に
- 授業：子どもの心や学力などあらゆる世の数値化の促進→集積管理
- 教員：教員が教員でなくなる

## 報告 みんなで話そうパレスチナの平和、日本の戦争 戦争と平和をめぐる若者との対話

京都大学大学院生の斎藤ゆずかさんと、『アジアから問われる日本の戦争』展2026事務局の協力で、上記の集会在阿倍野で開催された。大学生が取り組むパレスチナ運動に関心を持つ人々を中心に50人以上が参加した。

斎藤さんの「パレスチナの『平和』とは？日本から考えたい、話したい、パレスチナのこと」は彼女自身のパレスチナ問題との出会い、運動への参加、そして団体『SHIRORU』の結成、運動の中でアジアから問われる日本の戦争責任、侵略などを分かりやすく語られた。続いて2人の学生の意見表明、学生の座談会、そして会場からの質問票への回答・意見表明が行われた。



斎藤さん講演

**欧米各地で「イランから手を引け！」** (長周 3/11)



3月6日にパリで

米国とイスラエルのイラン攻撃に抗議して、そしてイランとの連帯のために欧米では大規模な集会とデモが行われた。そして追従する自国政府への激しい抗議。



3月7日にロンドンで



3月7日にNYで

欧米以外でも、メキシコやブラジル、チリ、アジアではインドネシア、中東イエメンなどでも集会が行われた。

**国家情報会議・局 閣議決定** (朝日 3/14)

高市内閣が「国論を二分する政策」の一つとする政府のインテリジェンス(情報収集・分析)機能の強化。政府は3月13日に国会に関連法案を提出した「司令塔機能の強化策」はその第一段階。首相はその先に、「スパイ防止関連法制」の策定、国外を対象に情報収集をする「対外情報庁」の設置も見据えている。

**ドイツも艦船派遣を否定** (朝日 3/17)

スペイン首相のトランプ批判に続いて、ドイツ国防相も「艦船派遣のいかなる理由もない」と否定。EU外相も「欧州の戦争ではない」と否定した。

**米テロ対策トップが「支持しない」と辞任** (朝日 3/18)

米国家テロ対策センターのTOPであるケント氏は「イスラエルの偽情報で始まった」「イラン戦争は米国の利益にならず、支持できない」として辞任を表明。

**米国家情報長官が核開発否定** (朝日 3/20)

ギャバード米国家情報長官は、「イランは核濃縮能力を再建することは試みていなかった」とする声明文を米議会に提出した。トランプ大統領はイラン攻撃の必要性を、イランが核濃縮を実施しようとしているとしてきたが、それを否定する内容である。

**報告 3/25兵庫県庁包囲第9波ヒューマンチェーン**



3月25日県庁前で

兵庫県議会の終了日に第9波の行動が約40人の参加で行われた。斎藤知事の不当な居座りで県政は悪化している。斎藤知事は公益通報保護違反で辞職すべきである。

**報告 3/27 原発いらナイト in 宝塚 156回**



毎月の最終金曜日に宝塚駅前で、反原発と原発の廃炉をめざしチラシ配布している。156回目の今日は11人で約120枚のチラシを配布した。

**報告 3/29 パレスチナ土地の日行動**

1976年3月30日、イスラエルによる土地収奪に抗議したパレスチナの6人が殺害された。以来、「パレスチナの土地はパレスチナのものである」「イスラエルはジェノサイドを止めろ」と声をあげつづけている。



役重さん挨拶

大阪では3月29日に約260人で集会、役重さんの主催者挨拶に続き、各団体から発言。そして御堂筋デモが行われた。



200人で御堂筋を

**案内 4/29 昭和百年記念式典 弾劾集会**

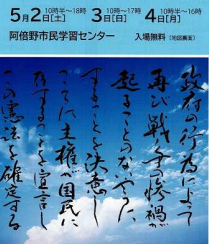


日本政府は「昭和百年式典」を昭和改元の12月5日でなく、裕仁の誕生日に行う。まさに「昭和」には裕仁摂政による関東大震災対応、治安維持法制定も含まれている。講師: 辻子実さん(即位・大嘗祭裁判) 日時: 4月29日(水)13:00~ 場所: エルおおさか5階研修室2

**案内 5/2~4 「アジアから問われる日本の戦争」展 2026**

いよいよ、日本は「戦争の道」に進むのか、「平和の道」に踏みとどまるのかが問われています。

**「アジアから問われる日本の戦争」展 2026**



講演会: 5月2日(土) 18時~19時 阿倍野市民学習センター 入場無料(18歳以下) 映画: 5月4日(日) 13時~15時 上映: 上城と原義和監督のトーク

**講演、映画の集い** 講堂にて

東戦争への協力金として3日間連続して500円いただきます

**5月2日(土)** 10:40~ 【映画上映】はだしのゲン 涙の爆発  
第一部「はだしのゲン」に続く第二部、脱戦後の広島を舞台にわらわら少年と原爆被災者のパイプティナーあふれる行動を通して脱戦の決意を突き刺す。脚本・監督は「はだしのゲン」の山田典貴。撮影は小林節夫がそれぞれ担当。1977年製作123分。

**5月3日(日)** 10:30~ 【ミュージカル】糸をつむぐ人魚姫  
演目と種族から選ばれるため、海女リボンと仲間たちは大層へ戻る。待ち受けていたのは、労働工場の過酷な労働と、朝鮮人女性への苛酷な差別だった。2025年11月22日(土)、和泉市・市民の集いのホールで終幕したミュージカル作品を上映。

13:30~ 【ドキュメンタリー】日本を戦場にすなわ  
戦争と平和の狭間で生きる人々。2026年 上映時間48分  
2006年の米軍西郷会堂襲撃以降、日本の軍事的一体化が進んだ。いま準備されている戦争は、自衛隊が米軍の代わりに中国と戦う戦争だ。2025年8月、防衛省は全米6か所に数基地攻撃可能長距離ミサイルを配備する計画を発表した。

14:30~ 【講演】講師: 青木茂  
中国強制連行・強制労働と「万人坑」  
日本への中国強制連行を知る人はいても、中国国内での強制連行、強制労働を知る人はほとんどいない。日本企業によって死まで駆使された中国人被害者の遺体は被爆地四方にも及び、その死体数が7万人に及ぶ。

**5月4日(月)** 10:30~ 【映像と講演】講師: 黒面  
台湾原住民族「晴園」での闘い  
高倉重樹(中ウズ・アリ)をはじめとする原住民族の「ヤスウ」での闘いは、「皇政」の侵略からの解放と長年の奮闘を振り返り、闘った。晴園社内で、彼女たちの怒りの闘いは、台湾の「晴園」に響かされた日本と日本社会にも向けられている。

**市民の手で戦争展を作らしましょう!** 賛同金のお願い

「アジアから問われる日本の戦争」展は、故郷の展示を記念したピースおおさかに危機感を覚えた市民の手によって、「市民の手で子どもにも正しい戦争を伝える必要はない」とスタートしました。財源もみなさまの賛同金のみです。

団体賛同: 10 3000円  
個人賛同: 10 500円  
振替口座: 00940-1-237543 (ピースを取り戻す会)

※「戦争展賛同」として送付ください  
各前払金の可否を連絡欄あるいはメールにてお知らせください

**【会場アクセス】**  
地下鉄谷町線阿倍野駅下車7番出口より地下道結あべのベルタ3階

阿倍野市民学習センター

**原発のない明日を!**  
**全国集会 in おおさか**

恒例の反原発の全国統一行動です。ぜひ参加して盛り上げよう!

6月7日(日)午後~

6.7(日) 午後  
大阪市内で集会とデモ  
ご予定ください。

自然エネルギーへ  
転換しよう!

主催: 若杉原ろうごがずん! 300名以上 090-9837-7102